

目標達成計画

作成日: 平成 31 年 4 月 15 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	10	入居者の方々への日々の援助、関わりや、ホーム全体の活動について報告はしているが、入居者ご本人、ご家族の皆様から出てくる意見を聴くことができていないところがある。	一方通行の関係性ではなく、互いが意見を言い合え、それを日々の生活に活かせるよう努めていく。	家族会、面会時に、報告のみでなく入居者の方、家族の方が意見や質問をしやすい時間をこちらがつくり、内容を、実際に取り入れていき、記録に残していく。	12ヶ月
2	26	ケアプランの利用者の意向の部分について、実質本人の気持ちの部分反映されていないところがある。	本人の意向が実際できるかどうかで判断するのではなく、どう思っていて、何をしたいのかを我々は、ご家族と協力して汲み取っていく。	些細なことでも本人の訴えを逃さず汲み取っていく。言葉だけに限らず、行動からも判断し、記録に残し、会議のなかでスタッフ全員が共通理解しケアプランに活かしていく。	12ヶ月
3	27	日常記録の入居者の方とのコミュニケーションについて、入居者の方の言動や、行動は記入できているが、その前後にあるはずの職員や、周囲の環境についての言動、行動が記入されていないところがある。	その場その場の状況は常に変化しているので日常記録を読む方が、理解しやすいような記録になるよう意識していく。	記録を記入する際、会話であれば、お互いの会話内容を端的に記入し、長くなりすぎないように注意する。行動なら、時系列を正確に、発生前から、対応後までをわかりやすく記入していく。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。